



湧き上がる思い
そのままに
【湖北のアール・ブリュット展2016】
／長浜市曳山博物館

広報

こほくかい 秋号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○発行者／北野 憲一

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行日／平成28年10月20日

津久井やまゆり園の事件を受けて

平成28年7月26日未明、神奈川県しょうがい者支援施設「津久井やまゆり園」で、元職員が、19名の利用者の命を奪い、26名の利用者に重軽傷を負わせるという凄惨な事件がおきました。重いしょうがいがあり、抵抗することすら困難であったであろう人々に対するこうした凶行を、断じて許すわけにはいきません。

今回の事件で犠牲となられ、尊い命を奪われた方々のご冥福と負傷された皆様の一日も早い回復を心からお祈り申し上げます。

何と申しても今回の事件の加害者が、同施設に3年余り勤務していたということに大きな衝撃を受けました。また、「すべての国民が、障害の有無によってわけ隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会の現実に資する」ことを目的とした障害者差別解消法が4月に施行された中で、起きたことに二重の衝撃を受けました。

事件の背景も含めた全容は、今後の捜査機関等の捜査の過程で徐々に明らかにされてくると思いますが、容疑者は、しょうがいのある人の尊厳を踏みにじる供述を続けているようです。私たち湖北会は、どんな人もかけがえのない唯一無二の存在であり、その可能性を伸ばし、幸せになる権利があるのだということを確信し、日々の支援を提供してきました。

これからも、この姿勢が変わることは、ありません。また、しょうがいのある人をあからさまに排除し、共生社会の在り方を否定する特異な主義・主張に対しては、反対の意思を表明するものであります。

しょうがいのある皆様、ご家族の皆様、今回のショッキングな事件を受け、言い知れぬ不安を抱かれていますと存じます。私たちは皆様の不安を真摯に受け止め、法人全体で、一人ひとりの尊厳を守っていくことをあらためて決意をし、引き続き一人ひとりが、社会の中で各々の希望に沿った生活が送れるよう個々に応じたきめ細かな支援を続けていきたいと考えています。

また、しょうがいのある人もない人も共に生きることが可能となる地域社会の実現に向け取り組むこと、さらにはしょうがい者福祉の奥深さとその素晴らしさをしっかりと社会に訴えていく覚悟でありますので、ご支援のほどよろしく願いいたします。

社会福祉法人湖北会 理事長 北野 憲一

社会福祉法人制度改革がいよいよスタート

社会福祉法等の一部を改正する法律が、平成29年4月1日より施行され、社会福祉法人制度改革が実施される運びとなり、法人運営が様変わりすることになります。当改革は、法人の持つ公益性および非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底することが主たる目的とされます。湖北会としましても、この動きに的確に対応するべく正確な情報収集をもとに、必要とされる準備を行うこととします。なお、制度改革の主な内容は、次のとおりです。

1 経営組織のガバナンスの強化

- 議決機関としての評議員会を必置
- 役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規定の整備
- 親族等特殊関係者の理事等への選任の制限に係る規定の整備
- 一定規模以上の法人への会計監査人の導入等

2 事業運営の透明性の向上

- 閲覧対象書類の拡大と閲覧請求者の国民一般への拡大
- 財務諸表、現況報告書、役員報酬基準の公表に係る規定の整備等

3 財務規律の強化

- 役員報酬基準の作成と公表および役員等関係者への特別な利益供与の禁止等
- 純資産から事業継続に必要な財産の額を控除し、福祉サービスに再投下可能な財産額（社会福祉充実残額）を明確化
- 再投下可能な財産額がある社会福祉法人に対して、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務付け

4 地域における公益的な取組を実施する責務

- 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たり、日常生活又は社会生活上支援を要する者に対する無料又は定額の料金で福祉サービスを提供することを責務として規定

5 行政の関与の在り方

- 都道府県の役割として、市による指導監督の支援を位置付け
- 経営改善や法令遵守について、柔軟に指導監督する仕組み（勧告等）に関する規定を整備
- 都道府県による財務諸表等の収集・分析・活用、国による全国的なデータベースの整備等

「あ〜と」での放課後等デイサービス 夏休みのアルバイトを終えて

(小濱 実葵さん寄稿)

私は、滋賀文教短期大学で保育の勉強をしています。大学の先生から、福祉を学ぶ良い機会になるからと、「あ〜と」でのアルバイトを紹介されました。そこで私は、大学の夏休みの期間を利用し、アルバイトをすることに決めました。「あ〜と」では、夏休み期間中毎日いろんな所に行くことになりました。

「びわ湖こどもの国」では、ぐるぐる回る遊具に乗って子どもたちと目が回るまで遊び、そして体育館では身体をいっぱい動かしました。また、シフォンケーキを皆で作って、出来立てのケーキを頬張ったり、動物や夏の虫たちと触れ合う体験もしました。

私は子どもたちと、一緒に夏休みを過ごすうちに、子どもたちのことが大好きになりました。特に、一人の男の子との出会いが、とても印象的でした。M君は、普段はおとなしく、本を読んでいることが多い子です。ある日、私が「バドミントンしよう。」と誘ったら、それに応じてくれて、二人で汗だくなるまでバドミントンをしました。いつも静かに過ごすことの多いM君が、楽しくバドミントンをし、活



発に身体を動かしているところを見て、私も嬉しくなりました。最初は、不安もありましたが、実際に子どもたちと接していくうちに、そんな不安は吹き飛んでしまいました。

おかげさまで「あ〜と」での様々な体験を通じて、職員の方々、そして子どもたちから、多くのことを学ぶことができました。

アルバイトで子どもたちにもらった写真や手紙は、私の宝物です。大好きな子どもたちと過すことができ、また職員の方々の支えもあり、今までにない充実した夏休みになりました。ほんとうにありがとうございました。

ふくらの森 車庫外壁改修工事完了



ふくらの森車庫棟の外部壁面が、経年劣化による広範囲にわたるクラックが発生し、運営に支障をきたしていたことから、全面外壁改修を行いました。

待ちに待った改修工事となりましたが、まるで新築の車庫が建ったようにきれいになりました。一部作業部屋にもなっていることから、とても気持ちよく活動ができそうです。

(ふくらの森 大岡賢至)

『湖北のアール・ブリュット展2016』が開催！



去る10月1日・2日に、長浜市曳山博物館伝承スタジオにて、湖北アール・ブリュット展推進会議主催による『湖北のアール・ブリュット展2016』が開催されました。

“アール・ブリュット”とは、特に芸術の伝統的な訓練を受けず、受け入れた知識に汚されず、既成の芸術の流派や傾向・モード・流行などに一切とらわれることもなく、また名声を目指すでもなく、何者にも影響されない、作家自身の創造力の源泉から湧き上がる真に自発的で自然発生的な芸術表現のことです。

「湖北のアール・ブリュット展2016」では、湖北地域に点在するしょうがい者の意欲的な芸術作品が幅広く集められ、湖北会も参加し展示しました。両日とも、たくさんの方が鑑賞にいられて、盛況のうちに終えることができました。ありがとうございました。

湖北まこも

暑かった、 そして熱かった 夏まつり!



まれにみる酷暑となった8月11日。恒例の「湖北まこも夏祭り」を開催しました。

当日は、地域の子ども会77名の子どもたちを含む250名弱の参加により、模擬店、ゲームコーナー、和太鼓、よさこい、ロードトレイン等々様々に趣向を凝らしたイベントを用意し、皆さんの笑顔がとても印象的な夏祭りとなりました。



あそしあ

実習の受け入れについて

滋賀文教短期大学より9月1日～9月16日までの11日間保育実習をしていただきました。入所施設という事で早出や遅出勤務も体験していただきました。年度初めにクラス単位で事前に見学をしていただいたこともあり、実習はスムーズにスタートされていました。

みなさん色々な目標をもって実習に望んでくださっています。支援についてや一日の流れなどそれぞれの思いを胸に実習に臨んでおられます。

最終日にお話を聞くと、ほとんどの実習生の皆さんが次のような感想を述べられることが多いようです。それは『コミュニケーション』です。特に入所施設では、様々なコミュニケーションを取られる方が多く、しかしその全容は理解できていないし、うまく伝えることができていないのが現状です。

実習生の皆さんは一番大切な思いを伝える、思いが伝わるという部分を強く感じ取ってくださっているのだと思います。たった二週間の研修で、しっかりとコミュニケーションの大切さを感じとられた見事な感受性を実感しつつ、あらためて私たちも原点に立ち返り自分を見つめなおし、「その人らしく地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたい」を応援できる利用者支援につなげていけるように努めていきたいと思います。
(あそしあ：山崎)

あそしあ 夏祭り!



8月13日(土)にあそしあで夏祭り行事を実施しました。今回の夏祭りでは、お昼ごはんとしてカレーやフランクフルト・フルーツポンチなどをいただきました。みなさん楽しい雰囲気の中、あそしあの食堂が素敵な笑顔で溢れていました。

午後からは、小林未奈さんとピュアプラスさんをお招きし、ライブと吹奏楽の演奏を鑑賞しました。普段なかなか聞くことのない素晴らしい演奏に利用者のみなさんは手拍子をしたり、身体全体でリズムをとったりして楽しんでおられました。また同じ会場で模擬店も実施し、かき氷やワークスさぼてんの煎餅・やまぶきのシフォンケーキといったお菓子をチケットと引き換えに利用者さんやご家族の方にお渡しすることができました。昼食・イベント・模擬店どれも大盛況となり楽しい一日となりました。

ワークス さぼてん

ぶどう箱折り作業終了!

今年の夏も、南浜ぶどう生産組合様からぶどう箱折の仕事をしていただきました。今年のぶどうは、出来がとても良かったらしく、仕事量も昨年実績を上回り「ワークス さぼてん」としては、うれしい悲鳴となりました。

夏の期間中、仕事をこなすうちに、利用者さんも自信満々に毎日笑顔で共同作業に従事することができました。この作業を通じて、仕事をする喜びを実感していただけたのは、職員にとっても達成感がありました。地域からのご支援まことにありがとうございます。

(ワークス さぼてん 佃 宏文)



あそしあ

ういずの会見学会

7月28日にういずの会では、彦根市にある「かいぜ寮」を訪問しました。入所施設が直面している高齢化・重度化、また施設の老朽化や防災等の課題を共有できればと思い見学をさせていただきました。

見学後の振り返りの中で多く出されたのが、最近大規模修繕を終えた「かいぜ寮」の生活環境面（ゆったりした居住空間・部屋は個室か2人部屋、短期入所は定員8名で個室個別対応、トイレや脱衣所の広さ、清掃専門のパート職員が雇用され、施設内外がとても綺麗など）でした。生活棟近くに自販機があることや食堂にピアノやコーヒーマーカーがあったのも印象的でした。スヌーズレンルーム（音や光を楽しむ心地よい空間）も確保されていました。

「かいぜ寮」の施設長様より、「かいぜ寮」で高齢化を考えることは、若い年代での過ごし方を考えることでもあると話されていましたが、訪問した保護者の皆さん・職員それぞれに収穫のある施設見学でした。今後の支援に活かしていきたいと思います。



（あそしあ ういずの会：丹波）

法人内研修・虐待防止研修



9月14日に、今年度の湖北会研修計画に基づいて、法人内各事業所の虐待防止担当者を対象として、「虐待を防止できる事業所づくり・組織づくりを目指す」を目的とし、講師に長浜米原しょうがい者自立支援協議会権利擁護部会より、美濃部裕道さんと、江川進市さんをお招きして、虐待防止研修を実施しました。

それぞれの講師様より「差別解消法」と、「相模原事件を教育の視点から考える」と題し、講義をいただき、また、虐待防止ワークショップを行いました。

今回の研修で、あらためて虐待防止について見つめ直す機会となり、また今後も継続して法人、各事業所で虐待防止に向けた取り組みを行うこととします。

研修委員会



北部音楽部会の紹介



北部音楽部会では、毎月1～2回程度ヨガと音楽の活動を行っています。普段の活動は、ふくらの森・湖北まこも・やまぶき・ゆるりの4施設合同となります。ヨガは、講師の方を招聘し、的確なご指導のもと、皆さんゆっくりとした動きで体をほぐし、とてもリラックスしながら活動されています。テーマ音楽は、各施設の職員が順番に担当させていただき、音楽に合わせて体を動かしたり楽器を鳴らしたりしながら、皆さんお楽しみの活動として定着しています。

（ゆるり 村田 恵美）



南部音楽部会の紹介

南部音楽部会では、あそしあ・いぶきやま・ライフまいばらの3事業所が集まって実施しています。当部会は、月に2回音楽活動、同じく月に2回ヨガを実施しています。音楽活動は、3事業所が順番に司会進行の当番を決めて実施しています。内容は、最初に全員で音楽（1曲程度）に合わせてホールを歩きます。次に鳴子やドレミパイプを使って曲に合わせて（3～4曲）踊ります。次に季節の歌（3～4曲）をピアノ伴奏に合わせて歌います。最後は、スヌーズレンで、ホールのカーテンを締め、癒し系の軽音楽をかけて、リラックスしてもらいます。おおよそ1時間15分程度の内容となります。

利用者の皆さんからは、人気のある活動です。皆さんは、音楽活動やヨガの日を心待ちにしておられます。部会としては、今後も利用者の皆さんには、笑顔いっぱい楽しんでもらえるように、色々と趣向を凝らして実施していきたいと思います。

（ライフまいばら）

スペシャルオリンピックス& しみんながはまトーチウォーク

9月24日開催



SON滋賀が、毎年開催しているトーチラン。今年は、長浜ロータリークラブとタイアップし、長浜曳山博物館を発着地点として「スペシャルオリンピックス&しみんながはまトーチウォーク」と題し、SO関係者約100名、長浜ロータリー会員様およびボランティアとして、長浜北中・長浜北星高校・長浜北星高等養護の皆さん総勢約200名が街中を「ウィアー・ザ・トーチラン」の掛け声のもとに歩きました。SOに参加している湖北会の利用者さんやそのファミリーの皆さんも多く参加されました。

なお、開会式では、藤井長浜市長ご臨席のもと、長浜ロータリークラブより、SON滋賀・湖北地区に、フローアホッケーの用具一式、バスケットボールのユニホーム・卓球の練習マシンの贈呈がありました。湖北地区のアスリートの皆さんは、一同に大喜びでした。

新顔登場

『新人職員紹介』



すぎた

杉田あかね

- 所属 ワークスさぼてん
- 趣味 書道、カラオケ
- 一言

9月から正規職員として、採用していただきました。

まだまだ分からないことばかりですが、一つ一つの業務をしっかりと覚え、利用者の方々の笑顔がたくさん見られるよう、また貢献できるように、がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いぶきやま やきいもだより

今秋 なんと金時登場

四国の徳島県で主に生産されている「なんと金時」。

かつて中身が黄金色をしているイモを「金時イモ」と呼んでいたことから、「なんと金時」と名づけられました。

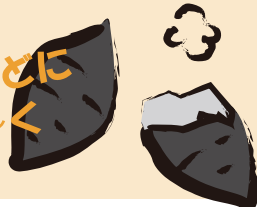
特色は、一言でいうなら「甘い」ことでしょう。でも甘いと言っても、とびきり甘いわけではなく、あえて表現するなら、品のある甘さというのがぴったりです。

いぶきやまでの焼き方を伝授します

さつま芋を、時間をかけてじっくりと焼くとすごく甘味が増します。通常1時間ほどの焼き時間を、1時間半かけて焼きます。そうすると、とても甘い焼き芋の出来上がりです。



焼き芋は・・・
ホクホクするほどに
あま〜くあま〜く



なんと金時(里むすめ)

100g

100円

1本

200円~300円

11月から販売させていただきます。

ワークスさかた

運転手さんに感謝!

「ワークスさかた」では、朝夕の送迎業務(1便)をシルバーさんにお世話になっています。利用者さんにも常に笑顔で接していただき、とても気さくにかかわってもらいながら、安全運転に心がけて従事いただいています。

「ワークスさかた」は、南の湖岸寄りに位置しているため、伊吹山の麓まで送迎しようとする、片道1時間30分ほどかかるコースを担当してもらっています。

これからも長い距離で大変お世話様ですが、よろしくお願ひします。

ゆるり

お世話になっています!



生活介護事業所「ゆるり」では、本年4月より、長浜市シルバー人材センター様との委託契約により、1日2時間の週2~3日、1名の方のシルバーさんにお世話になっています。

ちょうど、人手の足りないお昼の時間帯の前後で、利用者さんの見守りや作業の準備にあたっただけです。極々自然に利用者さんに関わっていただき、「ゆるり」には、なくてはならない存在となっています。そして、こういった形での交流は、とても素晴らしいことだと思っています。

実は、残りの週2~3日勤務いただける方を、人材センター様経由にて募集しています。少しでもご興味おありの方がおられましたら、ぜひ一度「ゆるり」に、ご連絡ください。

(TEL.50-4066)

シニア おすすめスポット vol.8

滋賀県選択無形民俗文化財 人形浄瑠璃 富田人形

「富田人形」の歴史は古く、実に江戸時代にまでさかのぼります。天保6年(1835年)、興行に出た阿波(徳島)の人形芝居の一座が、北富田の地で大雪に見舞われ興行できず、帰りの旅費を得るために人形を置いていき、その後これを引き取りにこなかったのが、村の芝居好きの人たちがその人形を使って稽古を始めたことが、富田人形の始まりと言われているのだそうです。

現在は、北富田に居住する人々を中心に、市内外の人形を愛好するメンバーが集まり、日々の練習に励まれており、人形浄瑠璃の保存と継承に努めるとともに、人形浄瑠璃をとおして、地元の小・中学生や地域住民、さらには海外からの留学生を迎え、文化交流、後継者育成に努めておられます。また、平成6年(1994年)のニュージーランド公演を皮切りに、5回の海外公演も行われ、滋賀県の誇る伝統芸能の紹介にも貢献されています。こうした活動により、「滋賀県文化奨励賞」や「滋賀県文化功労賞」など数々の栄誉にも輝いておられます。

出張公演もされますので、ご興味のある方は是非ご連絡をされてみてはいかがでしょうか。



平成3年(1991年)に建設された本格的な舞台をもつ会館



富田人形会館 長浜市富田町758
TEL 0749-72-5252
連絡先 富田人形共遊団 阿部秀彦さん

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人湖北会后援会の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。

1. 寄 付 金

2. 団 体 会 員

3. 個 人 会 員

—□ 5,000円

—□ 1,000円

郵便振替口座

00950-8-232378

名義 社会福祉法人湖北会后援会

■後援会へのご寄付(平成28年4月1日～平成28年9月30日)【1名】

匿名

■後援会入会と会費納入(平成28年4月1日～平成28年9月30日)【1団体 173名】

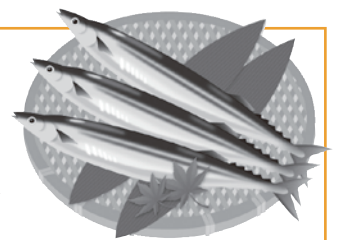
(有)スマイルメディカル

粕淵 彰英	川崎 峰子	庄 真澄	中川 清	藤本 千秋	山田 広司
赤井 力	河島 義之	白石喜太郎	中川 敏成	細溝よし子	山田 守克
浅井 善勝	河地 秋三	城楽 元一	中川 俊秀	堀 利光	山田 義憲
阿辻 弥生	川幡 正子	杉野美智子	中川 三男	前田 昭次	山水 富昭
安藤 幸子	川部 高功	杉山 誠	中川 玲子	巻幡 和正	山本ちづる
五十嵐政樹	川森 明人	杉山 佳弘	中島 英泰	巻幡 幸子	山本 人美
池田 光治	神田 航平	角田 達哉	中谷 進	増井富美子	山本 正子
井関 克郎	北川賢太郎	千田 智子	中村 卓史	松居 功	山本与志男
磯谷 辰夫	北川日出法	高木 英利	中村 照子	松川 賢	吉居 博伸
磯谷真理子	北村佳代子	高橋 勲	中森 一	松村 城次	吉川 光明
一居 利明	北村 直之	高橋 静生	中山 芳則	馬淵 英幸	吉田 顕治
伊藤 隆	國友 茂弘	高橋 祝恵	西尾 薫	丸本 真実	吉田 志保
稲田 宏二	久保 一三	高橋 孝子	西川 清子	三橋 道雄	吉田 喜三
岩田 晴弘	久保 信興	高橋たみゑ	西川 はつ	南浮 啓子	吉田 麗子
植道 健治	久保田一行	田口 豊子	西川 博	宮川 光江	領家岩太郎
遠藤 久江	久保田哲也	武友 新一	西田 恵子	宮川 三雄	脇坂 周幸
大浦 幸子	桑山 岳至	竹中 昌子	西村 精祐	宮本 恵司	渡辺 孝雄
大塚 浩司	児玉 房嗣	田中 朝雄	野一色富男	宮本 晴美	岩崎 俊男
大矢 吉治	佐々木喜代子	田中 修	野村 恵	村田 泰浩	山口美穂子
岡島 信和	佐野 実	田中 清栄	橋本 光志	室谷 文義	山口 三郎
小川 弘	澤 正和	田中 静江	橋本 康彦	森 邦子	山田 素
小川 洋一	清水 明宏	田中 実芳	長谷 良子	森田 正次	山本喜一郎
奥長 良文	清水 敦史	田中 武士	服部ゆり子	八木 敬子	七里 和壽子
奥村 和彦	清水香代子	田邊 茂	馬場 利和	安田 満	赤尾 利子
尾谷久美子	清水 建司	谷口 安廣	濱川 昌弘	矢野 道子	前田 龍良
音羽あけ美	清水 幸一	塚腰 武男	日比野省三	山口 芳美	土田 節子
柿木 一幸	清水 琢三	土川 博司	引山 雅弘	山崎 悦司	末松 光子
葛城 紀子	清水 光夫	角川さゆり	平居 悦子	山田 秀範	匿名2名
川崎 八郎	治村 健	寺村 秀美	福永 孝雄		(敬称略：順不同)

編集後記

暑かった夏も過ぎ去り、いよいよ秋本番を迎えました。秋といえば、やっぱり秋刀魚!

秋刀魚は、必須アミノ酸をバランスよく含んだたんぱく源とのこと。そして味わい深いその脂には、不飽和脂肪酸であるDHAやEPAなどの栄養素が、豊富に含まれます。とりわけDHAといえば、頭のよくなる栄養素とも言われています。私も、たくさん秋刀魚を食べて固くなった頭の回転をよくしつつ、秋の深まりに身を委ねていきたいと思えます。秋刀魚は、ちょっぴり高値なのが、残念といえば残念です。



編集委員：大岩 憲市